

津軽みらいの わらしっ子

田舎館村東光寺

なかやま りこ ちゃん(9歳) かんた 栞汰くん(8歳)
 中山 璃子 ちゃん(9歳) 栞汰くん(8歳)
 すずは 涼羽 ちゃん(5歳) こう 虹空くん(2歳)

中山博登さん・由香さん夫妻の子供
 組合員名：中山 博登さん

仲よし4人きょうだい☆

璃子さんは、飽きっぽい所もあるけど真面目な性格で気遣いもできる優しい子です♪
 泣き虫な一面もある栞汰くんは、きょうだいのまとめ役で頼りになる存在です♪
 負けず嫌いな涼羽ちゃんは、弟の面倒見がよく、何事にも一生懸命に頑張る子です♪
 おしゃべりが上手になった虹空くんは、みんなを笑顔にする癒し系No.1です♪



みんな仲良く思いやりをもって
 大きくなってネ!
 夢は大きく!! がんばれ~!!

文芸の広場

短歌

稲穂重し刈り取り時間に案山子立ち

役目終えても田圃見渡す

秋風吹き散歩するにも肌寒く

一枚多く羽織るこの頃

日一葉に赤み増したる紅葉山

橋の眼下は見事な眺め

大根掘り洗心水の冷たさに

手かじかみて息吹きかける

実りの秋一年の収穫皆終えて

来年も頼む木守の林檎よ

晩秋の銀杏の葉の落ちるとき

里にもちらほら風花舞ふて

同年輩昭和の名優樹木希林

家族に看取られ旅立つ人に

学び終へ皇后さまと同じくし

六十年の月日長くも短し

島国の日本国土災害に

弱い地盤の地表の成り立ち

櫻庭きゑ

隅に映えて光り輝くすすき原

枯れし穂先風とたわむる

物干しのハンガーかすか揺らぎつつ

音も静もる夕暮れの晩秋

思い出のアルバム覗いて懐かしく

若きあの頃一人微笑む

木の葉散り岩木の頂雪白く

間近に迫る冬の足音

工藤キヌ工

稲刈りを終えし畔の草紅葉

冬將軍の足音近づく

不揃の大根干してま、いいか

漬けてしまえばそれなりに

建前で本音をおさえて生きてきた

あともう少しのまま生くか

小野シミ工

川柳

正義なく権力にこびる草もみじ

少子化や口ポット社会見え隠れ

伝統に胡座をかいて相撲道

しあわせの香りを混ぜてよもぎ餅

前向きな心に輝く笑顔かな

ぶらり旅出会いの数だけ情けあり

政治にも西高東低の風が吹く

明日葉の明日が見えない過疎の里

覚蓮坊

妻の留守一升瓶が気にかかる

人生は泣きと笑いのドラマです

年金で小遣いやつと間に合わせ

失敗を認めたくない腹の虫

りんごもぎ終えて安堵の露天風呂

工藤キヌ工

投稿される皆様へ 短歌、川柳など毎月の投稿
 ありがとうございます。クロスワードクイズ応
 募用紙と同じ住所へ投稿してください。(JA
 津軽みらい文芸広場宛)また、読みづらい漢字
 には必ずフリガナをお願いします。次回は1月
 に掲載となります。よろしくお願ひします。